

(パネルディスカッション)

国立ライフサイエンス情報センター(仮称)設立構想

NPO 法人日本医学図書館協会
総務担当理事 木 村 博

国立ライフサイエンス情報センター(仮称)あるいは国立医学図書館(仮称)については、ここ数年の総会において何回となく議論され会員館の皆様のご意見を入れながら現在も努力を続けてきています。

日本医学図書館協会の事業の重要課題として、是非とも実現に向けて進めていくため、再度この間、および今までの経緯、当面のできる範囲の事業、将来の構想等をご報告したいと思います。

1．経過

- ・ 1960 - 1980 年代 医学文献情報センターの設置に向けた取り組み
- ・ 1999 - 2006 年代 国立医学図書館から国立ライフサイエンス情報センター(仮称)への取り組み

2．センターの機能

国民一般の健康増進に寄与するために、わが国の政策課題の重点分野の一つである、

ライフサイエンスに関わる情報の網羅的な収集および効果的な情報流通に必要なセンター機能およびネットワーク機能。

- ・ サービス対象
- ・ 情報の範囲
- ・ 機能の詳細

3．当面の事業

- ・ 関連他団体との協議
- ・ 関連 6 団体(日本医学図書館協会、日本薬学図書館協議会、日本農学図書館協議会、日本看護図書館協会、病院図書室研究会、近畿病院図書室協議会)での協力体制で可能な事業の展開

4．将来構想

- ・ ライフサイエンス情報の収集および提供のための国によるセンターの設置
- ・ ライフサイエンス情報の流通のための既存団体の再編成とネットワークの構築
- ・ これらの実現のための推進会議の設置